

会報

No. 7 (第 1591 回) 2022 年 9 月 14 日 (水) 12:30~

第 2820 地区 大野治夫ガバナー 地区スローガン “enjoy life ~人生を楽しむ~”
2022-2023 橋本壽郎会長スローガン 「楽しい奉仕活動で輪を広げよう」

本日のプログラム： 広報・史料委員会

◆ 外部卓話: 公共イメージ委員会

9 月 7 日例会報告(第 1590 回)



橋本壽郎会長より、米山奨学生リュウ・ケントウさんへ
奨学金授与

◆ 今月のお祝い



左から清宮武雄会員、橋本壽郎会長、鶴田哲男会員、橋本和一郎会員

- 会員誕生日祝： 中井英一郎会員、高阪裕二会員、鶴田哲男会員に記念品贈呈
- ご夫人誕生日祝： 清宮武雄会員夫人(寿子様)、橋本和一郎会員夫人(睦美様)、
大久保賢二会員夫人(淳子様)へ、カントリーフラワーひまわりより花を贈らせてもらいました。

◆ 幹事報告

報告者： 厚見和則幹事



- 会員の「地区大会登録料」及び会長・幹事の「地区大会 第1回会長・幹事会」への参加登録料支払いが理事会で承認されました。
※2022年10月29日(土)、30日(日) 390,000円
30日の出欠の回覧を回しておりますので、参加のご意向を確認させてください。
なお、貸切バスを検討しますので、自家用車かバス利用希望かもお願いいたします。
- 2022年10月～12月までのプログラムが更新され、理事会で承認されました。
詳細は次週、田中プログラム委員長より報告いただきます。
- 「青森・山形大雨災害支援金」について
※8月3日からの大雨により、甚大な被害が生じた第2830地区(青森県内)および2800地区(山形県)から災害支援要請が来ております。地区の対応として地区内会員1人当たり2,000円の支援をすることになりました。@2,000円×36人＝72,000円
- 2021-22年度「ロータリー賞」受賞の吉報が届いております。
- 大野ガバナーより公式訪問のお礼の手紙が届きました。
- 米山梅吉記念館から事業資金の支援の案内が来ております。
賛助金 年間1人3,000円(1口)、全国1人1,000円募金
- 会員手帳の最終確認をお願いします。修正等ありましたら幹事までご連絡ください。

◆ 出席報告

報告者： 出席委員会 浅川清司委員



会員数	出席免除者数	対象会員数	出席者	欠席者	出席率 (%)
36	5 内出席 1 名	32	23	9	76.66

出席免除者（敬称略）：下線は例会出席
清宮武雄、高橋 昭、中井英一郎、大部 泉、瀬谷利雄

◆ ニコニコボックス

報告者： ニコニコボックス委員会 藤田明英委員長



『よろこびの言葉』

◆ 橋本 壽郎

ガバナー公式訪問、ご苦労様でした。

◆ 鶴田 哲男

誕生日プレゼントありがとうございます。

◆ 清宮 武雄

妻の誕生日ありがとうございます。

◆ 橋本 和一郎

家内の誕生日祝いをいただき、ありがとうございます。

◆ 海野 宏幸

清水様、卓話宜しく申し上げます。 ウクライナ支援は世界的に停滞状況？
今後も継続支援してゆきましょう。

◆ 藤田 明英

9月に入りました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
引き続きニコニコBOXへのご協力よろしくお願い致します。

◆ 委員会報告

報告者： 社会奉仕委員会 目黒伸也委員長



9月25日（日）にロータリーの森清掃活動を実施致しますので、奮ってご参加下さい。当日天候が悪い場合の予備日は10月2日（日）になります。変更がある場合は、9月25日朝7時に参加者に電話連絡します。

報告者： 広報・史料委員会 木村正人委員長



(ロータリーの友9月号記事紹介)
・表紙について。8月号は、東京都三鷹市にお住いの栗原祥平さんの「にじの絵」という作品です。
・横書き5ページは会長からのメッセージがあります。今年4月のグアテマラ訪問の際、橋が流されていて川の中をバスで渡った経験から、地元で活動する専門家のサポートがあってこそわたしたちが力を発揮できること、重要な目標を達成するには時に危険を冒す必要があることを学んだそうです。
・横書き7ページから「バックナンバーでたど

る友70年」が特集されています。今月は、1950～1960年代を振り返っています。

- ・1952年4月に大阪で行われた地区大会で、日本が二つの地区に分かれることが決定したことをうけ、共通の機関紙を創刊することが企画され、2回の準備会を経て1953年1月に創刊されました。
 - ・準備会で決定したことは、編集委員は合議制、東京での発行、名称はロータリーの友（ビールの友からという説もあり）、横書き（現在は縦横両方）などです。
 - ・1950年代には、徳川夢声や松下幸之助が登場、伊勢湾台風禍におけるロータリーの活躍などが書かれています。
 - ・1960年代では、67年に「友」誌で起こった杞憂論争、1968～69年に日本人初のRI会長となった東ヶ崎潔氏の紹介などが載っています。
 - ・横書き20ページからは、「ロータリー希望の風」奨学金について紹介されています。
 - ・横書き24ページから茶道裏千家大宗匠千玄室さん（99歳）の「一盃からピースフルネスを」が紹介されています。ご一読ください。
 - ・横書き38ページには、RI副会長のニッキー・スコットさんのコラムがあります。
 - ・縦書き4ページには隈研吾さんの紹介があります。
 - ・国立競技場について、さらに運河を挟んだ2つの建物で構成されている長崎県立美術館や、太宰府天満宮近傍のコーヒー屋さん（スタバ）、木のトレーラーハウスの活用などが紹介されています。
 - ・縦書き9ページからは「この人を訪ねて」です。石川県の七尾RC木下義隆さんは、モントレージャズフェスティバルイン能登の実行委員長としてその準備から開催の様子を紹介しています。
 - ・縦書き13ページに、旬の話題である「おいしいお米の味わい方」があります。
- 以上です。

○ 米山奨学生リュウ・ケントウさんより活動報告



リュウ・ケントウさん



東海那珂ロータリークラブ

国際奉仕委員会 卓話 「ウクライナ支援について」

令和4年9月7日

22-23年度 国際奉仕委員会
委員長 清水 繁



「夢は日本語の先生」ウクライナ侵攻半年 避難者の願い

住野原史 (20名)
2022年08月30日 (水)

「ウクライナにいたときから、日本で日本語を勉強したいと思っていた。でも私が今ここにいるのは、残念ながら、戦争が起きているからです」

母国・ウクライナから避難し、今は日立市の日本語学校で学んでいる20歳の女性のことばです。ロシアによるウクライナ侵攻が始まって、8月24日で半年。女性の思いを取材しました。

取材に応じてくれたのは、ウクライナの首都・キーウ出身の、アナスタシア・モトルナキさん(20)です。

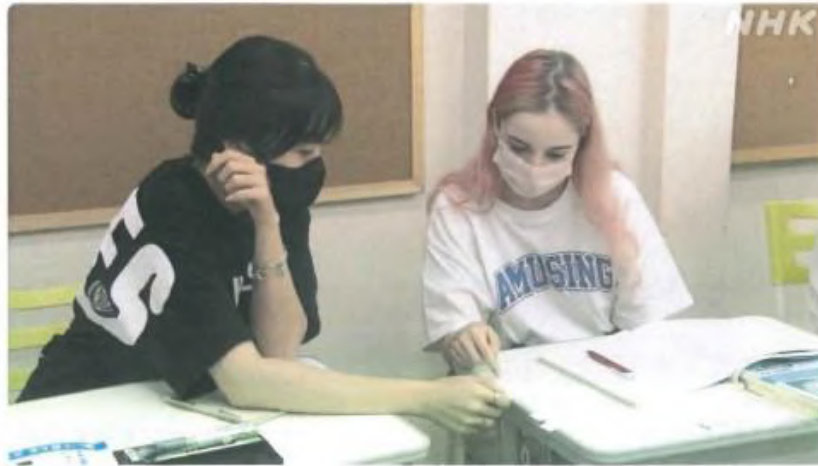
キーウに両親と住み、大学に通っていたアナスタシアさん。3月に自宅隣のマンションが爆撃され、身の危険を感じるようになったといいます。



戦災の状況

※上記写真と同じ場所

大学で日本語を専攻していたアナスタシアさんは、7月24日に来日し、今は日立市にある日本語学校の支援を受けて、日本語を学んでいます。



日本に来ることは、アナスタシアさんにとって念願でした。しかし、このような形で来日することになるとは、もちろん、思ってもいませんでした。一緒に学んでいた大学の同級生たちも、今はちりぢりとなってしまいました。

ご清聴ありがとうございました

◆ 会合報告

会 合 報 告

報告者氏名 浅川清司

2022-2023年度 国際ロータリー第2820地区
第25回 インターアクト年次大会

日 時 令和4年8月21日(日) 10時00分~15時30分

場 所 茨城キリスト教学園高等学校

ホストクラブ 茨城キリスト教学園高等学校インターアクトクラブ

スポンサークラブ 日立港ロータリークラブ

主 催 国際ロータリー第2820地区 インターアクト委員会
 基調講演 演題「ウクライナでの戦争を考える」
 講師 茨城キリスト教大学 文学部
 現代英語学科 講師 ジャブコ・ユリア Ph, D
 留学生 マルタ・イリョ
 参加者 水戸農業高校インターアクトクラブ 桑名顧問、生徒9人
 中村澄夫パストガバナー 田中宏和地区インターアクト委員
 橋本壽郎会長 浅川清司インターアクト委員長



会 合 報 告

報告者氏名 大森龍一

1. 会合名 米山奨学会合同セミナー
2. 形 式 ハイブリッド形式（現地＋ズーム）
3. 日 時 2022年8月28日（日）9:30～12:00
4. 場 所 つくば山水亭
5. 出席者 現地：大森龍一

議事

1. 米山事業の説明
2. 米山梅吉記念館研修旅行の報告
3. 秋入学1.5年の奨学生終了式
4. 学友会活動について
5. 10月米山月間にむけて 奨学生の卓話教育
6. 準世話クラブの実施状況について
7. 全体での質疑応答
8. 保延ロータリー学友委員会委員長所感
9. 池田担当カウンセラー総評

次回例会：9月28日（水）12:30～ 卓話：清水陽司会員

例会を欠席する時は、必ず前日12:00までに事務局まで連絡のこと

クラブ会報委員会：委員長 富永康修／副委員長 桐嶋健二／委員 佐藤広道、橋本和一郎